

一八一八番

児こらが名なに かけの宜よろしき 朝妻あさつまの 片山崖かたやまぎしに  
霞かすみたなびく

一八一九番

うちなびく 春立はるたちぬらし 我わが門かどの 柳やなぎの末うれ  
に うぐひす鳴なきつ

一八二〇番

梅うめの花はな 咲さける岡辺をかへに 家居いへをれば 乏とちしくもあら  
ず うぐひすのこゑ声